

【米粉に適した品種及び低コスト粉碎技術の開発】

Q 1 米粉の粉碎技術の開発について、処理能力毎時何キロ以上などの定量的な目標などは有るか。

A 定量的な目標は設定していませんが、米粉の生産及び利用拡大に貢献し、経営が成り立つ技術を開発していただきたいと考えています。

Q 2 「普及・実用化支援組織」の参画が条件となっているが、具体的にどのような組織を想定しているのか。

A 本研究課題では、開発した品種及び低コスト粉碎技術を迅速に普及・実用化し、米粉の生産及び利用の拡大を図る観点から、「普及・実用化支援組織」の参画を必須としており、具体的には、製パン・製粉企業等の民間企業、都道府県普及指導センター、協同組合等の機関を想定しています。

Q 3 達成目標に「製粉時の損傷デンプンの発生が主食用品種よりも少なく、かつ、多収な米粉用品種を(中略)育成する」とあるが、損傷デンプンの発生量は、製粉条件等によっても左右される。ここでは、損傷デンプン低減に寄与する特性を有する品種開発を行うものと考えて良いか。

A 貴見のとおりです。損傷デンプンの発生は製粉装置によっても異なるため、「主食用品種よりも少なく」という部分は、目安として考えてください。